



地域医療連携 だより

第 8 号

平成 22 年 4 月発行
富山通信病院
地域医療連携室

病院長あいさつ

20年ぶりに寒かった雪も解け、春爛漫のいい季節になりました。
病院隣の護国神社境内や裏の松川縁の桜の蕾がふくらんでいます。

昨年度、護国神社前から大和にまっすぐ続く外境内が改装され、電柱の地下埋め立て工事もおわり、富山通信病院周辺はベンチが点在する風光明媚な憩いの場所になりました。立山仰ぐ特等席というHPでは、当病院前から立山連峰を背景にした銀杏通り越しに市街地をみる写真がトップを飾っています。徒歩5分位かかりますが市街地の環状線電車、セントラムが昨年12月から稼働し、市内はかつての賑わいを取り戻し始めました。



(院長 高田 正信)

昨年9月に政権交代がおこり、いろいろなシステムが変わりつつあります。その中でも、小泉・竹中民営化路線から、郵政事業は大きく転換が図られることになりました。その一環として、通信病院事業は、地域に密着した、より患者さんのニーズに応える病院作りを目指す方向性を指示され、ここ数年抑制されてきた医療部門の投資を180度転換し増資することになりました。また、医療機器や薬剤購入の中央一元化の方向を変え、地方に資金が回る地域調達になっていきます。

富山通信病院は現在内科5名、外科2名、眼科、婦人科、整形外科各1名の計10名の医師がいます。うち、内科外科医7人は、4人の消化器専門医、3人の循環器専門医で成り立っています。消化器部門は、最先端の拡大内視鏡の設置など高度な診断治療を既に行い好評を得ています。しかし、循環器部門には優秀なスタッフがいましたが、心エコー、トレッドミル、ペースメーカー植え込みに限られ、心血管造影機器やMDCTなどの医療機器がなく手薄でした。今年度、富山市内では最先端機種の新製64列MDCTと心臓血管造影機器の購入が決まり、今年度早々に入札が行われる予定です。冠動脈や腎血管狭窄などのスクリーニング、確定診断およびインターベンションが行われるようになります。

2月に郵政株式会社齋藤次郎社長についてナンバーツーの高井副社長が初めて当病院の視察に来られました。職員全員を集めて富山通信病院が負け組にならぬように、本社としてあらゆる応援支援していくという力強い、また職員には心強い訓辞をいただきました。もとより、地域住民に最高の医療の提供を目指して、ファーストクラス・ホスピタルの気概を持って邁進していた当病院にとっては、鬼に金棒の気概でいます。

地域連携室は順調に活動していますが、今後、更なる充実を図り、皆様のお役に立つよう頑張ります。

今年度も、何卒宜しく願いいたします。

診療科紹介

整形外科

富山逋信病院（整形外科）では整形外科一般の治療を行なっている他、特徴としてA K A療法という治療法を取り入れています。外来で時には劇的に短時間で痛みがとれることがありますので、うまくいった時は患者さんはなにが起ったのかとびっくりされることもあります。

A K A（Arthro Kinematic Approach）療法という治療法をお聞きになったことがありますでしょうか。この治療法は関節の動きを改善することで、痛みを軽減できるという治療法です。専門的にいいますと関節包内運動を正常にする方法です。

関節はドアのジョイントの様に同一軸にて動いているのではなく、関節が動くと同時に関節自体が滑りながら回転軸を移動させています。この正常な動きが障害されると、関節の動きがスムーズにいかずに痛みの原因になります。なんらかの原因で動きが障害されると、関節のロッキングされ痛みが生じます。よく知られたものとして子供の肘内障をイメージしていただければ理解しやすいと思いますが、ロッキングを解除するとただちに痛みが消えます。いまは説明をしやすいするためにロッキングを例に挙げましたが、ロッキングまでいかなくとも微妙な関節の動きが障害されると痛みの原因となります。そして関節の動きが障害されやすいのは関節面が複雑な構造になっていて、常に体重のかかる骨盤の仙腸関節とされています。仙腸関節の動きが障害されると、痛みが体に放散していたところに痛みが生じる原因になります。勿論仙腸関節だけでなく、いろいろな関節の動きが障害されることにより同様な痛みが生じます。例えば、腰痛には仙腸関節、腰椎椎間関節、第12肋椎関節が痛みへの原因となります。さらにこれらの関節を動かすには極弱い力で十分で、整体のように突発的な力（スラスト）は必要ありません。

このように富山逋信病院（整形外科）では他の医療機関では行っていない愛護的な治療をまず第一選択に行っております。勿論一般整形の治療は全て合わせて希望に沿うように行っております。

また、病院としての責務は果たすべき紹介患者さまの手術治療も行っております。

（文責：中山博文）



（部長 中山 博文）

開放病床症例検討会

第107回 開放病床症例検討会の報告(H22.1.19)

平成21年度の整形外科開放病床について

平成22年1月19日に富山逋信病院の会議室にて整形外科担当の開放病床を開催いたしました。テーマはここ1年間の紹介症例の手術療法の供覧でした。紹介症例は9例で、内訳は大腿骨頸部骨折が6例、手関節内骨折が3例でした。まずは大腿骨頸部骨折のタイプわけと、それに沿った治療方針の説明を行いました。最近の症例は超高齢化および全身状態があまり宜しくない症例が増えてきていることが特徴でした。90歳の症例が3例ありいずれも大腿骨頸部内側骨折であり、大腿骨頭に血行がいかない骨折でしたので人工骨頭置換術を施行しました。また、1例に80歳の心不全の合併症例があり、それはハンソンピンによる骨接合術を施行しました。なかなかそれぞれリスクが高く難儀しながら対応させていただかしてもらいました症例です。手関節内骨折の3例はいずれも関節面が粉碎されておりパズルのように正確にあわせるのが困難を呈した症例ばかりでした。

2例には骨移植も合わせて行いました。全ての症例は無事問題なく手術が終わり、病院を退院いたしました。このように地域のニーズに対応するために、全力にて治療を行わせていただいております。

（文責：整形外科 中山博文）

第108回 開放病床症例検討会の報告(H22.2.16)

重症 COPD に合併した気胸で治療に苦慮した症例について呈示いたしました。

症例は 81 歳、男性で胃切除時に輸血歴 喫煙歴があり、72 歳時には C 型慢性肝炎を指摘、78 歳から H0T 導入中で呼吸機能障害者 3 級の認定を受けている方です。この時点では肺機能は 1 秒率が 42.3% %肺活量 55% と混合性換気障害をみとめ、酸素フリーで PaO₂ 58.2 torr PaCO₂ 45.2 torr の中等度の COPD でした。

また、79 歳時に肝細胞癌を発見され、TAE を某病院で受けましたが、効果は不十分で、血管造影検査の一連の処置に耐え切れないため、追加治療を拒否し、経過観察されていました。

平成 21 年 11 月 4 日、息苦しさを訴え、救急車で搬送されました。右肺の虚脱率が 22% であり、若年で特発性自然気胸ならば、穿刺吸引のみで外来フォロー可能ですが、高齢で COPD の症例であり、難治性で続発性の可能性が高いため、11/3 日 1 2G のトロッカーカテーテルで胸腔ドレナージ吸引を行いました。1 週間後も脱気不十分のため、11 月 11 日ミノマイシン 200mg マーカイン 20m 1 生食 20m 1 による胸膜癒着術を施行し、11/13 日トロッカーを抜去しましたが、残気あり、右腸骨棘に褥瘡を形成してしまいました。気胸治療以後 ADL は著しく損なわれ、ほぼベッド上でのみの生活となり、外来通院もままならず、翌年 1 月 14 日肺炎を併発し、かねてからの延命治療を望まないという本人の意向を汲み、人工呼吸器を装着しないまま、呼吸不全で永眠されました。

本症例は、高齢で高度の COPD に合併した気胸治療の難しさを教えられました。また、職歴を隠して呈示しましたが、フロアからは、現病歴から、一風変わった考えの方であることより、職歴の質問がなされ、臨床経験の高さに感服いたしました。かつて医療関係者であった本症例は、我々の医療の限界を見透かしながらも、最後は、苦痛の緩和をしながら家族のそばで死を迎えたいという気持ちだったのかと推察されます。もう少し以前よりその意図を察知確認し、連携を組んで支援ができていればという心残りのある症例でした。

(文責：内科 老子 善康)

第109回 開放病床症例検討会の報告(H22.3.16)

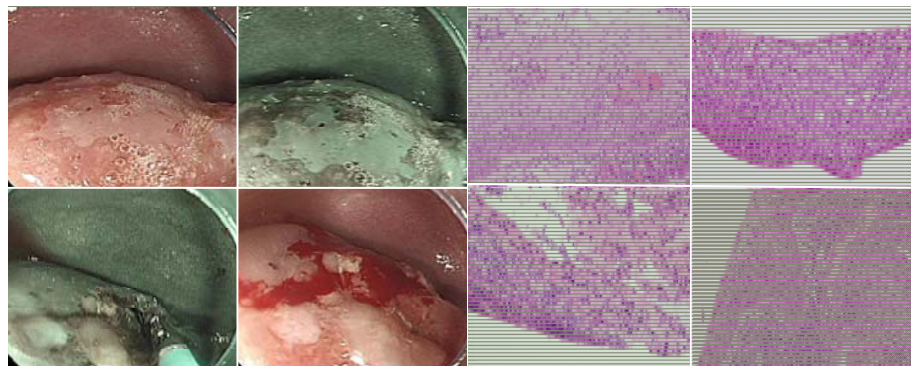
子宮頸癌症例の 99% に人パピローマウイルス (HPV ウイルス) が証明されていることより、子宮頸部癌発生に関して、HPV ウイルスが関与していることが知られております。昨年 12 月より子宮頸部癌発生関与するウイルスの感染予防に開発されたワクチンが発売されました。当院でも 3 名の方が、すでに投与されております。今回はこの HPV ワクチン、サーバリックスについて学習しました。

HPV (人パピローマウイルス) はありふれたウイルスで、現在まで百数十種類が同定されております。一般的には皮膚の疣を作るウイルスであります。子宮および膣などの粘膜に感染する HPV ウイルスのうち、ある種のものが子宮頸部癌発症させるとされております。

今回発売された、HPV ワクチンは 16 型、18 型に対するワクチンであります。すべての発癌ウイルスを対象にしたものではありませんが、日本人に発症する子宮頸部癌の 60~70% をカバーするとされております。当院では細胞診でクラス III a 以上とされた人に HPV の DNA (悪性) の検査 (膣分泌物より採取) と子宮頸部組織の採取を行い、診断の精度や進行の把握について精度を上げる努力をしております。

癌が発症していない人であれば、CIN1、CIN2、CIN3 を含むすべての方がワクチン接種の対象になります。

(文責:婦人科 井川 一正)



次回の開放病床症例検討会は
4月20日(火)、5月18日(火)です。

副社長訓示



去る2月18日、本社から高井副社長が視察のため来院されました。病院始まって以来のことです。

職員全員を集めて、地域に根ざし、受診した患者さまから喜んでもらえる病院になること、決して通信病院が負け組になってはいけないこと、職員ひとりひとりが誇りをもって働く環境作りをすることなどの訓示を頂きました。

また、過去数年間、郵政本社は通信病院の支出を抑制することばかりしてきて、医療も病院もおかしくなってしまうが、これからは前向きに考え突き進んでもらいたい、また本社はそのための投資を積極的にしていくことを確約されました。

職員一同、気持ちを新たにし奮起を促された有意義な一日でした。

(文責：大上 英夫)

外来診療担当表

※は手術日

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	午前	1診	舟木	島倉	舟木	老子	舟木
		2診	島倉	高田	長澤	高田	島倉
		3診	長澤	長澤	長澤／舟木	島倉／長澤	舟木／島倉
	午後	1診	老子	長澤	長澤	舟木	老子
		2診	高田		高田		
外科	午前	大上／長	大上／長	大上／長	大上／長	大上／長	
	午後	大上／長	大上／長	※大上／長	大上／長	大上／長	
整形外科	午前	中山	中山	中山	中山	中山	
	午後	中山	※中山	中山	中山	中山	
産婦人科	午前	井川	井川	井川	井川	井川	
	午後	※井川	井川	井川	井川	井川	
眼科	午前	坂井	坂井	坂井	坂井	坂井	
	午後	坂井	坂井	坂井	※坂井	坂井	

編集後記

政権が自民党から民主党に変わり、私達、通信病院のあり方が大きく変わろうとしています。先日、日本郵政株式会社取締役副社長の高井俊成氏が来院され激励の言葉を頂戴しました。

政権交代によって売却予定であったかんぼの宿をはじめ、通信病院のあり方についても大きく見直しされました。必要な人員確保、施設投資に力を注いでくれることを約束していただきました。

通信病院は郵便局の職域病院であり、郵政職員とその家族に開放されてきた病院です。昭和56年11月に一般開放され29年目を迎えました。病床数は当時と変わらず50床と規模の小さな病院ではありますが、専門性の高い医師を中心に、今以上に地域住民に選ばれる病院を目指し、職員一同一丸となって頑張っていくと改めて奮起させられた出来事でした。

地域医療連携室 藤野 由紀子

富山通信病院地域医療連携室

電話番号：076-421-7819

F A X：076-421-7829